

広報くじ

7

2012
月1日号
No. 152

意地と意地のぶつかり合い！

6月10日、平庭高原闘牛場で平庭闘牛大会つづじ場所が開催されました。小雨降る中ぶつかり合う牛たちに、場内からは歓声が湧き上がりました（関連記事2－3頁）

■平庭闘牛大会つづじ場所開催

いざ初陣の場へ

P 2－3

■訓練の繰り返しが防災につながる

訓練

P 6－9

きらり人輝く

P 16

いざ初陣の場へ

平庭闘牛大会つつじ場所開催

東北唯一の「平庭闘牛大会」。6月10日、小雨降る平庭高原闘牛場で、つつじ場所が開催されました。本大会は昨年の春に生まれた2歳の牛のデビュー戦。その中には東日本大震災の翌日3月12日に生まれた柿乃花3.12も登場。さん所有の「柿乃花3.12」も登場。震災からの復興を意識させる大会となりました。

南部角突き甚句



甚句を歌う内坪博人さん

平庭闘牛を
甚句に詠めばヨー
東北唯一の 角突きヨー
春はつつじが 咲き乱れ
秋はもみじで 山燃ゆる
白樺美林の 平庭で
勢子の気合で 角合わせ
人牛一体 大一番
意地と闘志が ぶつかって
かけひきしながら 隙を待つ
牛主観衆 息を呑み
勢子が勝負を 見極める
歴史は古く 遡り
塩の道から 始まって
ワガサを決めるに 角突きを
郷土の伝統 守りつつ
手塩にかけて 育て上げ
行く末 越後や南国へ
渡って 横綱登りつめ
多くの名牛 全国に
名声高き 南部牛
いわて平庭 闘牛を
どうかご支援 ヨーホホイ
願いますヨ



1



2



3



4

- 1／激しいぶつかり合いが繰り広げられました
- 2／小さな牛も、自分より大きな相手に果敢にぶつかっていく、闘牛の醍醐味に勢子の下館進さんも思わず笑顔
- 3／あいにくの雨模様にも関わらず約1,000人もの観客が来場、迫力の取り組みに歓声を上げました
- 4／取り組みを終えた横綱に子どもがあいさつ。牛と観客との距離の近さも人気の秘密です

ぶつかり合いに歓声

開会式では名調子の南部角突き甚句が大会の始まりに花を添えました。取り組みが始まると場内に響く「ゴツッ」というぶつかり合う音。両者一步も引かない勝負には、場内からは歓声が湧き上がりました。取り組み中は、新潟県長岡市の山古志闘牛飼育組合の松田淳さんによる分かりやすい解説もあり、観客は皆楽しんだ様子でした。二

若い牛を育て上げる

戸市から来た齋藤美和子さんは「大きい牛は迫力がありました。こういった伝統が残っているのは素晴らしいです」と笑顔で話していました。若い牛を育て上げる

牛に最後まで決着を付けさせません。聞くところによると、若いうちから決着をつけると負けた牛に負け癖がついてしまい、闘牛の牛に向かなくなるからとか。全国各地に闘牛素牛として出ていく牛たちを、強い牛として育て上げようとする生産地としての誇りが感じられます。

INTERVIEW



小さい牛闘う姿かわいい

初観戦です！小さい牛が大きな相手に立ち向かう姿は迫力の中にかわいらしさも。試合の解説も楽しませてくれますね。

桃木 康行さん（盛岡市）



牛と牛ぶつかる姿は迫力！

家族4人で来ました。初めて見たけど、牛と牛が体でぶつかって闘う姿はすごい迫力です。宿題の作文にも書きたいと思います。

久慈 電ノ介くん（侍浜小6年）



柵の中に入場する柿乃花3.12。本大会では昨年春に生まれた2歳牛12頭が初陣を飾りました



キズナ強化プロジェクト

交流を通して 深める絆

被災地での復興支援やボランティア活動などを通して海外と被災地との絆を深める「キズナ強化プロジェクト」。第1陣となる訪日団が6月12日から久慈を訪問、交流を深めました。

訪日したのは日本への関心が高く、日本語を専攻しているアメリカの高校生ら50名。13日は2班に分かれて市内で漁業と琥珀採掘を体験しました。琥珀採掘体験では約8,500万年前の地層からの琥珀の発掘に挑戦。生徒からは、琥珀の原石を掘り出すたびに歓声があがりました。参加者のサラ・リプログルさんは「掘り出す作業は難しいけど見つけるまで頑張ります!」と流ちょうな日本語で話してくれました。午後は市内を散策しまちなか水族館を見学。水族館までの移動中は市内の高校生と会話をするなど、交流も深めました。その後三陸鉄道に乗りして震災について学習しました。

訪日団は14日には山形町内で環境ボランティアなどを行い、15日に次の訪問地へ向いました。



まちなか水族館で応援コメントを書く参加者

TOPICS 復興関係



出発式ではアンパンマンとくす玉割り

「アンパンマントロッコ」運行

被災地の 子どもたちに 笑顔と元気を

5月19・20日の両日、JR八戸線で「アンパンマントロッコ」の運行が行われました。東日本大震災からの復興に取り組む被災地の子どもたちに笑顔と元気を届けるため、JR四国とJR貨物の協力により、JR東日本管内で運行が実現しました。



上/「いってらっしゃ〜い」手を振り見送る坂本勝義久慈駅長
下/列車内では景品付きジャンケン大会も行われました

きんまんが登場すると久慈駅には子どもたちの大歓声。乗客約50人を乗せて陸中八木駅に出発した車内では、ジャンケン大会が行われるなど、乗客は特別な旅を楽しみました。家族で乗車した欠畑永愛くん（小久慈町・6歳）は「列車には、初めて乗りました。楽しいので、また乗りたいです」と笑顔で話してくれました。

TOPICS 復興関係



復旧した施設の安全を願う山内市長

市営魚市場卸売場が復旧

水産業の 復旧・復興の シンボルに

東日本大震災により被害を受けた久慈市営魚市場卸売場の復旧工事が終わり、5月29日に完成を祝う式典が行われました。式典には、市や県、久慈市漁業協同組合、公益財団法人ヤマト福祉財団の関係者ら約50人が参加。山内隆文市長は「水産業の復旧・復興のシンボルとして飛躍させたい」と期待を込めました。

第一卸売場は事務所と休憩室を二階建てとし、第二卸売場は海水殺菌器と受変電設備の二階への移設に加え、鳥の侵入を防ぐため、正面を除く三方を壁で囲むなど環境・衛生にも配慮した施設となりました。

5月11日～6月10日受付分

被災者へ救援支援物資、義援金、市への寄付金

東日本大震災で大きな被害を受けた本市に、救援支援物資や義援金、市への寄付金が全国各地から寄せられました。5月11日～6月10日までに受け付けた分は次のとおりです。（敬称略）熱い支援ありがとうございます。

久慈市に寄せられた義援金 1,040件 8,451万8,774円（6月10日現在）

救援支援物資	
■ 県外 ■	【大阪府】▼(株)アテックス
■ 県内 ■	【滝沢村】▼佐々木園子
義援金	
■ 県外 ■	【山形県】▼渡辺貞・たみ子
■ 群馬県 ■	▼西尾郁子
■ 千葉県 ■	▼関口英行
■ 東京都 ■	▼(株)マックハウス
▼五味秀春	
■ 神奈川県 ■	▼神林洋行
■ 県内 ■	【企業・団体】▼川井婦人会
▼(株)神成電気商会	▼荷軽部自治会
■ 口座振替 ■	
■ 個人 ■	▼シミズ・ヒナコ
▼ハナリ・ジュン	▼ハヤシ・シ
▼オ・ツヤマ・カズヨ	▼マツウ
▼ラ・ユウジ	
■ その他 ■	▼匿名3件
寄付金	
■ 県外 ■	
■ 埼玉県 ■	▼城野口有吉

【盛岡市】▼岩手県労働組合連合会	【その他】▼匿名1件
募集 義援金ご協力を	
市では、久慈市地震災害義援金を募集しています。この義援金は、市内の被災した方々に分配されます。皆さんのご協力をお願いします。	
▼受付期間	平成25年3月31日まで
▼受付場所（現金）	
①社会福祉課（市役所1階）	
②山形総合支所	
③各支所（宇部、侍浜、山根）	
▼その他の受付方法	
①現金書留：宛先はこちら	T028-8030
久慈市川崎町1番1号	
久慈市役所社会福祉課	
②口座振込：入金前に社会福祉課までご連絡をお願いします。振込先はこちら	
岩手銀行久慈中央支店	
普通預金2057188	
久慈市地震災害義援金	
久慈市福祉課 ☎52-2119	

被災者住宅再建支援事業	
東日本大震災により岩手県内で居住する自宅が全壊した、またはやむを得ず解体された方に、補助金を支給し久慈市内での「持ち家」の再建を支援します。被災者生活再建支援金（建設・購入）を受給している世帯も対象となります。	
▼対象となる方（世帯）	次の2つの要件を満たしている世帯の世帯主
①岩手県内でその居住する住宅が全壊、または解体されたことにより、被災者生活再建支援金の基礎支援金を受給している	
②久慈市内に自宅を建設または購入することにより、被災者生活再建支援金の加算支援金を受給している	
▼補助限度額	複数世帯 100万円
単数世帯 75万円	
▼申請手続	市役所社会福祉課の窓口に申請書と添付書類を提出してください
▼実施期間	平成24年7月1日から平成29年3月31日まで
久慈市福祉課 ☎52-2119	



みんなで記念にばいやり(左から4人目がばばさん)

絵手紙うちわに心込め

NHK盛岡文化センター絵手紙講師で、ガラス絵作家のばばあきらが6月7日、仮設住宅の入居者に「絵手紙うちわ」を贈りました。被災者のために何かしたいと考えたばばさんは、絵手紙教室の受講生に呼び掛けて1,000枚のうちわを制作。「県

内の被災地を回り被災者を激励したい。一日でも早く元気を取り戻してほしい」と願いを込めるばばさん。うちわは心のこもった手作りの作品で、ひまわりや朝顔などがやさしく鮮やかに描かれています。入居者は突然の贈り物に驚きながら満面の笑み。今年の夏はやさしい風が心も元気にしてくれるでしょう。

訓練

実際にあることを行つて、習熟させること
日ごろからの訓練の繰り返しが防災につながる

日常において、災害に遭遇することは極めてまれかもしれませんが、東日本大震災のような災害は突如発生するもの。静かに迫りくる災害。災害が発生したとき私たちはとっさに対応できるでしょうか。どこに避難すればいいのか、どう対応すればいいのか…。日ごろから訓練することで、少しでも落ち着いて対応できるのではないのでしょうか。



トピック1 津波避難訓練



- 1 / 手を取り避難する久喜地区の住民
- 2 / 通学前の子どもたちも進んで参加
- 3 / 避難場所では先生も待機し避難した児童を確認
- 4 / 下長内地区でも保護者と一緒に子どもたちが避難
- 5 / 避難を完了した後、東日本大震災の犠牲者に黙とうをささげる参加者

防災意識を高める

6月15日、市内で津波避難訓練が行われました。この訓練は、明治三陸大津波と東日本大震災の津波災害を教訓に行われるもの。総合的、実践的な訓練を実施し、地震・津波災害での地域住民の防災意識を高めることを目的としています。

小・中学生も参加

岩手県沖で震度5強の地震が発生、大津波警報が発表されたという想定の下、防災行政無線を通じて避難が指示されました。

避難所に指定されている下長内公民館には、避難指示の放送を聞いた住民が避難をしてきました。避難した住民の中には、小・中学生の姿も。勾配のある避難路では、つらそうに登る人を気に掛ける参加者も見られました。車で避難してくる参加者もあり、訓練終了時には約50人の住民が公民館の敷地内に避難しました。また、東日本大震災で、津波が住宅地を襲った久喜

地区では、約220人が避難訓練に参加。防災行政無線から緊急地震速報が放送されると、住民はいち早く避難行動を開始しました。避難所に指定されている久喜保育園には次々と住民が避難してきました。そこには避難した生徒の人数などを確認する先生の姿も。避難指示が放送された時には、避難を完了している参加者も多く見受けられ、その真剣な表情からも防災意識の高さが感じられました。

すぐ避難するため

消防団第9分団班長の廣崎三正さんは避難訓練を終え、「昨年の大津波の教訓が生かされて、今回の訓練には多くの子どもたちが参加してくれました。避難指示が出たら避難するのは当たり前だが、いざというときすぐ避難できるように日ごろから訓練をすることが大事だと改めて感じました」と話していました。

津波は待ったなし！

学童にいますので、普段から避難の備えはしっかりしています。津波は待ったなしなので、揺れたら逃げる意識を持つことが大事ですね。

大須賀 幸子さん（長内町）

サイレンが鳴ったら高台へ

災害が起きた時、とっさに行動できるか不安なので、避難訓練には参加しています。サイレンが鳴ったらすぐ高台へ避難、それが大切です。

坂本 久輝さん（宇部町）

津波の知識と 自分を守る 訓練を

久慈湊小学校



教室に戻り避難について確認

6月8日には、久慈湊小学校（中居澄江校長 児童数194名）で津波対応避難訓練が行われました。訓練は、地域住民や避難経路上にある介護サービス事業所も参加し約250人で実施されました。午前9時30分、地震の発生を知らせる先生の声を聞き、児童たちは一斉に机の下へ。停電により放送が使えないと



素早く避難する児童たち

いう想定の下、先生が鐘を鳴らしながら廊下を走り津波警報が発令されたことを児童たちに伝えると、児童たちは担任の指示に従い足早に校舎の外へ移動しました。その後は担任の先導により避難場所である高台の民家へ。避難に要した時間はわずか11分でした。避難を完了した児童たちに中居校長は①津波に対する正しい知識を持つ②自分の命は自分で守る意識を持つ③登下校中に地震が発生したら迷わず避難するーを繰り返しました。避難訓練を終え、児童の大水沢天香さん（1年生）は、「初めて訓練でした。歩いて避難するのは大変でした」と話していました。

自分を守る、地域を守る

定期的な訓練 で防災力の 向上を

湊地区

6月10日、湊町で消火訓練が行われました。訓練は住民組織の久慈湊十日会（松前利幸会長）が湊町の住民を対象に実施しており、今年で4回目。湊町内の住民や自主防災組織、消防団などから40人余りが参加しました。初めに、町内の消火栓から



水圧に負けないようホースを握ります

の放水訓練を実施。参加者は久慈消防署員や地元消防団員の指導の下、消火栓の操作方法やホースの接続方法などを確認し、実際に放水を行いました。続いて消火器を使用した初期消火訓練は、湊ふれあい館で実施。的確な消火器の操作を見せた久慈湊地区自主防災会連合会の佐々木孝一会長は「消火器やAEDの操作は反復訓練が大事です。覚えていくつもりでも、実際の現場では慌ててしまうもの。定期的な訓練を行い、地域の防災力を向上させたい」と話していました。



指導を受け消火する参加者

トピック3 消防隊の救助訓練

市民の命を守る

久慈消防本部の救助隊員は、災害や交通事故などから市民の尊い命を守るため、日々厳しい訓練に努めています。

6月13日から20日までの間、久慈消防署訓練場で救助訓練が一般公開されました。訓練は消防救助技術県大会（6月29日開催）の競技種目のロープブリッジ渡過やはしご登坂、ほふく救出ーなど6種目。19日は久慈湊保育園の園児たちが訓練を見学。園児たちはバスから降りるなり「かつ

ロープブリッジ渡過は水平に張られたロープ40mを往復する



上／器具を使わず15m登るロープ応用登はん
下／ほふく救出は8mの煙道から救出・搬送を行う

こいい！」と目を輝かせます。本番さながらの動きを見せる隊員たちに「がんばれー」とエール。

訓練の様子を見ながら西川一弘消防課長は「隊員たちは必至で救助訓練をしています。大規模災害が発生した場合、大規模災害が発生した場合はすべての人を救助することはできません。まず、自分の身は自分で守る。そして地域を守る心構えを持つてほしい」と願っていました。



普段からの 想定も訓練

日常では、そんなに多く災害や火災に遭遇することがないでしょう。避難訓練の意義は、忘れがちな避難場所や対処方法を確認すること。ぜひ訓練には多くの人に参加してほしいです。

しかし大規模な訓練だけではたくさんの方を想定できません。普段から災害などに対するイメージを持つことが重要です。たとえば買い物の時、通勤・通学時に、今地震が来たらどう対応したらよいか意識してみることも手軽にできる防災訓練と言えます。



寄付配分で車両 などを整備

6月8日、郵便事業株式会社からの寄付配分で整備した車両などの交付式が市役所正面駐車場で行われました。

市では、寄付金付き郵便はがきなどの売り上げによる寄付配分約1,370万円を活用してクレーン付きトラックのほか発電機34台、衛星携帯電話5台を購入。

畠山俊久慈支店長と大石純夫野田郵便局長から贈呈を受けた山内隆文市長は「土のうや資機材の運搬など多様かつ迅速に対応できる。平常時も含めて有効活用したい」と謝辞。畠山支店長は「地域防災のために役立ててほしい」と願いを込めました。



災害弱者を 地域で支援

市と西の沢・荒町が協定

市と西の沢町内会（細越次男会長）・荒町町内会（外里壽会長）は6月12日、災害時要援護者名簿の共有に関する協定を締結しました。両会長は「災害時の安否確認は民生委員や消防団のみでは厳しい。災害弱者の支援に協力し安心安全な町内会をつくりたい」と決意。同協定の締結は今回で38団体に。着実に支え合いの輪が広がっています。

全国選抜ゲートボール大会優勝！

目指すは 全国3大会制覇！



賞状とトロフィーを手に全員で記念撮影

5月26・27の両日、鹿児島県で行われた第27回全国選抜ゲートボール大会で、ミドルクラスに岩手県代表として出場した久慈K・O・Sが見事初優勝をしました。

大会での成績を報告に6月4日市役所を訪れた久慈K・O・Sのメンバー。大上博美主将は「こんなに早く制覇できるとは思ってもいませんでした。今大会では大事なところでのミスが少なかったことが勝ちにつながりました。今後は全国3大会制覇を目指して頑張っていきます」と感想を述べました。山内隆文市長は「山形地区は以前からゲートボールが盛んで世代が交流し若い選手が育つ環境。今回の結果もその成果の一つだと思います。世代交流ゲートボール大会も頑張ってください」と選手をたたえました。



上／優勝を報告する大上博美主将
下／選手全員笑顔の優勝報告でした

SPORT

県高等学校総合体育大会柔道競技が久慈市で開催 本市出身選手の活躍が光る



団体戦で戦う久慈高校の船渡五月選手

男子個人戦60kg級	第1位＝松 館 眞 也（久慈高3年）
男子個人戦66kg級	第1位＝岩 館 典 毅（盛大附高3年） 第3位＝工 藤 正 柳（久慈高3年）
男子個人戦73kg級	第2位＝三 浦 拓 海（盛大附高2年）
男子個人戦81kg級	第3位＝柏 木 聖 哉（久慈高2年）
男子個人戦100kg級	第3位＝後 藤 貴 志（久慈東高3年）
男子個人戦100kg超級	第3位＝工 藤 賢 規（中央高3年）
女子個人戦48kg級	第3位＝船 渡 美 咲（久慈高2年）
女子個人戦52kg級	第1位＝佐々木 楓美紀（久慈東高3年）
女子個人戦63kg級	第1位＝船 渡 五 月（久慈高3年）
女子個人戦70kg級	第3位＝橋 場 瑠璃子（久慈高2年）

5月25日、27日にわたり、市民体育館で岩手県高等学校総合体育大会柔道競技が開催されました。選手は気合いを入れて試合に挑み、各部門で本市出身の選手の活躍が光りました。女子団体戦では久慈高校が3位に入賞。個人戦の上位入賞者は表のとおりです。



気合いの投げ技で一本を狙う

SPORT

マレットゴルフとパークゴルフの大会が開催 空の下、コースに快音響く



青空の下プレーする参加者

市長杯争奪パークゴルフ大会は6月3日、平庭高原パークゴルフ場で開催。晴天に恵まれた同大会には市内のパークゴルフ愛好家約40人が参加しました。

清々しい空気の中、参加者は起伏に富んだ全4コースのラインを読みながら絶妙なボールコントロールを披露。「ほれ、入った」「いやあ、足りなかつたあ」と一喜一憂しながら楽しんでいました。

同日、宇部マレットゴルフ大会では市民マレットゴルフ大会が開催されました。大会には市内からエントリーした小学4年生以上の選手約100名が参加。

競技開始の号砲が鳴ると各ホールにはボールを打つ快音が響きわたりました。参加した嵯峨洋子さん（湊町）は「皆さんと交流を深めながら楽しくプレーしたい」と笑顔で話していました。



世代を問わずプレーを楽しみました

NPO

いわて未来ラボをNPO法人に認証 地域資源活用と人材育成に期待

市では「北いわて未来ラボ（安田玲美代表）」を市内で13番目の特定非営利活動法人（NPO法人）に認定することを決定。6月4日、市役所で設立認証書交付式を行いました。同団体は東日本大震災後、被災地支援として子どもを対象としたイベントを開催した同級生の有志が中心となり設立。地域資源の有効活用や人材の育成を目指します。

安田代表は、「次の世代に

団体の概要

- 代表者 安田玲美
- 会員数 10人
- 事業内容

地域経済活性化、地域活力増進、人材育成、人材・企業紹介など地域情報発信、交流拡大等の事業を行い、郷土に誇りと夢を持つことができる地域づくりを目指すとともに、東日本大震災で被災した地域の子もたちに夢と希望を与える取り組みを行い、復興に向けた活動を広く国内に発信する。本年度は高校での講演会の他、中高生を対象とした情報交換会などを実施予定。



意欲を見せる安田代表（中央）と中平均事務局長（右）

バトンタッチするまで今後30年は途中下車なしで活動をしていきます」と笑顔で決意を述べました。

今後、同団体は人材育成のため久慈地域の各高校で講演会を行う予定。自分たちの子どもの世代が夢と希望をもって生活していける地域を目指す同団体の活動に期待がかかります。

SCHOOL

山根中学校、盛岡でフキなどの販売体験 元気な呼び込みに客足も増え



みんなで丁寧作業

6月11日、山根中学校で、総合学習の一環として生徒と保護者、卒業生によるフキ処理が行われました。フキは6月9、10の両日、各家族で採取したもの。処理したフキの半分は山根温泉べっぴんの湯で販売されるほか、盛岡市内で行われる販売体験にも出品されます。自分たちが販売する商品ということで、生徒たちは茹で、皮むきなどの作業に熱心に取り組んでいました。保護者の葺山三佳子さんは「雨の中、苦勞して採ったフキだけに頑張って完売してほしいですね」と声援を送りました。

生徒達の販売体験は6月13日に行われました。最初は照

れながらチラシを配っていた宣伝係の生徒でしたが、意を決して「お願いします！」と元気な呼び込み。声の大きさに比例して客足も増え始めました。販売係の生徒もぎこちない動きはすくなくなくなり、笑顔で「ありがとうございます！」と器用に袋詰めする姿に客も満足げ。

販売係を担当した小野寺玖実さん（1年）は「どのよう



接客対応もなれたもの！

家庭からeco始めます 中学生が省エネ ワークショップ



班ごとに省エネの「家族会議」

6月9日、久慈青年会議所（新田裕吉理事長）主催のワークショップ「eco（エコ）っていいね！」がやませ土風館で開催。市内の中学生や同会議所のメンバーら約30人が5班に分かれて自宅で行っている省エネや今後始めたい取り組みを話し合いました。

県地球温暖化防止活動推進員の下天广浩さんから自分が家庭で実践している省エネについての講話やアドバイスを受けながら、各班で「使っていない家電のコンセントは抜く」など家庭でできる取り組みを発表。参加者は気に入った発表を評価する「いいね！シート」を掲げて会場を盛り上げていました。

ワークショップに参加した添田杏南さん（大川目中3年）は「話を聞いたり考えたりして意識が変わった。自分でできるecoを実践したい」と決意。

第2回ワークショップは7月7日（土）に同会場で開催。楽しくecoを考えてみませんか。



上／素敵な発表に「いいね！」
下／左から養事奈央さん、添田杏南さん、小坂はるなさん

INFOMATION

情報公開制度と個人情報の取扱状況

図総務課☎52-2112 山形総合支所ふるさと振興課☎72-2125

市の文書など公開

情報公開制度は、公正で開かれた市政を進めるため、市が保有する文書や図面、写真などを皆さんの請求に応じて公開する制度です。制度の内容や、情報の公開請求方法などはお問い合わせください。昨年度、開示請求された件数などは次のとおりです。

▼情報の開示請求件数（実施機関別）：計11件
①市長：10件②農業委員会：1件

▼情報の開示請求に対する決定の状況：計11件
①開示：6件②部分開示：2件③不存在：3件

情報は適正に管理

市は、個人情報保護条例を



制定し、個人情報の収集内容や、請求によって開示する内容などに基準を設け、皆さんの個人情報の適正な管理・保護に努めています。昨年度の事務の取扱状況などは次のとおりです。

▼個人情報の取り扱っている事務の件数（実施機関別）：計377件
▼個人情報の開示請求件数：5件（すべて口頭で請求）
▼個人情報の開示請求に対する決定の状況：5件（すべて開示）

PENSION

年金の免除申請は7月から

図市民課年金グループ☎52-2118

免除期間や対象

7月1日から、平成24年度の国民年金保険料の免除申請を市民課（市役所1階）で受け付けます。

保険料の納付が困難な方は、免除制度をご利用ください。

▼免除対象期間
本年7月～平成25年6月分
※学生の免除期間は本年4月～平成25年3月分

▼免除対象者：次のいずれかに該当する方
①前年の所得が一定以下の方：本人、配偶者、世帯主の所得で判定されます
②失業などの理由により保険料を納めることが困難な方：本人の所得を0円とし、配偶者、世帯主の所得によって判定します

▼申請に必要なもの
①年金手帳
②印鑑（本人の場合は不要）
◎学生の申請は次のものも必要：学生証の写しまたは在学証明書
◎失業特例の申請は次のものも必要：雇用保険受給資格者証または離職票など（失業年度を含む2年度有効）

23年度分は7月中

平成23年度の保険料の免除（昨年7月分～本年6月分）は、7月31日（火）まで申請することができま。また免除された保険料は、10年以内であれば追納（後払い）できます。追納の手続きは、市民課年金グループまで。

ROAD

第10回国道281号平庭トンネル早期着工・完成促進住民大会開催

早期着工、両住民が一体となり要望



意見発表をする木地谷基視さん

6月2日、国道281号平庭トンネルの早期着工・完成を訴える住民大会（同実行委員会主催）が山形町で開催されました。大会には、久慈市と葛巻町の住民など約200名が出席。

はじめに同大会実行委員会委員長の鈴木満葛巻町議会議員が「国道281号は内陸と久慈地域をつなぐ重要な路線。一方で平庭峠付近は急カーブや冬の積雪など大変危険である。平庭トンネルは平成28年の岩手国体成功のため、住民が安全で快適に生活するため、そして命の道として必要であることを、久慈市と葛巻町の住民が一体となり国と県に強く訴え、着工につなげたい」とあいさつ。



大会の締めくくりは万歳三唱

続く意見発表では、始めに久慈市の木地谷基視さんが「慣れ親しんだ道路で思い出もあるが、真冬は最大の難所。しかし山形町に住む者はこの道を通る他ない。トンネルの開通は経済効果や通年型グリーンツーリズムの発展にもつながる。」と発表。葛巻町の本宮泉さんは、妊婦の時に久慈市内の産婦人科へ命がけで通院した体験を発表しトンネルの早期着工を訴えました。大会では最後に、平庭トンネルの早期着工・完成を国・県に強く要望する大会決議を出席者全員で承認し、万歳三唱で締めくくりました。地域間と命をつなぐ道。これからは平庭トンネルの必要性を訴えていきましょう。

CREMATORY

久慈地区火葬場整備事業工事安全祈願祭

アクセス向上、環境にも配慮



新火葬場の完成予想図。鉄筋コンクリート・一部鉄骨、2階建てで、延べ床面積は1642.49㎡。供用開始は7～9月の予定

昭和46年に供用を開始、40年余りが経過し老朽化やアクセスに課題を抱えている久慈地区火葬場。5月28日に、新施設建設予定地の侍浜町で工事の安全祈願が行われました。式典には、住民や久慈広域連合、施工業者など約30人が出席。祈願を終えた山内隆文広域連合長は、「施設の抜本的・全面的な整備は住民の強い希望。新施設は安全で利用しやすく、環境にも配慮する。人生の終焉の場にふさわしい施設になるよう努めていく」と期待を込めました。新施設は、設備の充実のほか、太陽光発電設備や室内照明にLEDを採用するなど環境にも配慮。平成25年6月の完成を目指します。

副市長に 星氏を選任



末崎副市長の退任に伴い、6月14日に招集された市議会定例会において、星文雄氏（60歳）を副市長に選任することについて同意を得ました。任期は6月14日から4年間です。

【星氏の主な経歴】

明治大学卒。昭和45年に関東信越国税局採用、昭和51年大蔵省主計局。以降、平成12年より運輸施設整備事業団総務部次長、高松国税局南国税務署長、沖縄振興開発金融公庫経理部長、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構経理部長、独立行政法人情報通信研究機構財務部長を歴任。栃木県真岡市出身。



広報リポーターの突撃取材！



左から優勝した松舘君、岩舘君

4本とった
全国切符！

5月25日～27日、市民体育館で県高総体男子柔道競技が開催。久慈市出身の2人が優勝し全国大会へ。女子2階級制覇を含めベスト4には久慈出身が11名。“柔道のまち久慈市”の粋と元気を全国に発信して欲しい。(小倉利之リポーター)



園児を背負い、避難先に向かう侍浜中生徒ら

侍浜中で
合同避難訓練

侍浜中学校で6月5日、地震・津波を想定し保育園児とデイサービス利用者を同校に避難させる合同訓練を実施。泣きじゃくる園児に苦勞し、高齢者が乗る車いすの誘導に緊張しながらも、生徒たちは達成感に笑顔でした。(梅沢政隆リポーター)

20本以上の歯これからも

イー歯トープ8020コンクール表彰

6月11日、80歳以上で健康な歯が20本以上人を称える久慈市イー歯トープ8020コンクールの表彰状^{きん}達式が元気の泉で行われました。受賞者を代表し金野光男さんが「これから指導を守り、20本以上ある歯を守り続けることを誓います」と謝辞を述べました。受賞者は次のとおりです。(敬称略)

▶黒沼フミ(夏井町) ▶長倉良雄(山根町) ▶金野光男(栄町) ▶金野久子(同) ▶晴山ミサ(長内町) ▶畑中秀作(侍浜町) ▶刈城富次郎(京の森) ▶梨子木ヤエ(新井田) ▶砂子キヨエ(大川目) ▶小田敏子(門前) ▶火石ハナヨ(山形町) ▶高橋昭三(寺里) ▶皆川粕雄(山形町) ▶岡本イナ子(栄町) ▶下野由松(夏井町) ▶廻立三郎(畑田) ▶小田豊(川貫) ▶菅原常雄(侍浜町)



受賞者の皆さん、大切な歯をいつまでも！



1

- 1/行列はまさに一大絵巻
- 2/出発に先立ち、豊作祈願が行われました
- 3/表情も様々なわら人形は当日作成したもの
- 4/まつりは若い世代にも引き継がれています
- 5/集められるわら人形



2



3

まつりを通じ地域一つに

枝成沢で五穀豊穡を願い虫まつり

枝成沢地区で6月3日、市指定無形民俗文化財の「虫まつり」が行われ、地域住民ら約100人が参加しました。「虫まつり」はわら人形を棒の先端にくくり付け、町内を練り歩き、農作物につく悪い虫を追い出し五穀豊穡を祈願する行事。人形が背負う「ワラツト」には、周辺の田畑で捕まえた虫と、供養のための赤飯などが詰められています。

行列の到着地点となる広場では、参加者により運ばれたわら人形が1カ所に集められ火がつけられました。笛や太鼓が奏でられる中、参加者は五穀豊穡と無病息災を祈願していました。

町内会長の谷地秀人さんは、「今年の肌寒さが、農作物にどう影響するか心配だが、祈願をしたから大丈夫だろう。虫まつりの準備や環境整備には地域が一丸となって取り組んでいる。若い人たちにもまつりを通して地域が一体となる文化を受け継いでほしい」と笑顔で話してくれました。

きれいな街でおもてなし

たばこ販売協が美化活動

久慈たばこ販売協同組合(播磨忠一理事長)は6月5日、川崎町で美化活動を行い組合員ら20名が参加しました。活動は平成9年から続いており、今年は観光客をきれいな街でおもてなしすることを特に意識しているとのこと。同組合では、11月まで毎月1回清掃活動を行う予定です。



久慈川堤防沿いの清掃をする参加者



きれいになると自然に笑顔に

きれいはいみんなのため

久慈高生、河川敷を清掃

久慈高校(加藤春男校長・生徒538名)は6月1日、毎年実施している久慈川河川敷の清掃活動を実施し337名の生徒が参加しました。1年生の日野澤^{ひのさわ}司さんは「きれいにすることは自分を含めそこで生活する人たちのためになる。ごみの分別など環境意識を持っていきたい」と話していました。

不法投棄撲滅をめざして

不法投棄監視パトロール

5月29日、市役所でごみ不法投棄監視パトロール出発式が行われました。パトロール員を代表し宇部松蔵さんが「美しい自然を守り後世に伝えるため、不法投棄撲滅を目指し全力を尽くします」と決意を述べました。環境パトロール員は市内を巡回し不法投棄の防止などに努めます。



決意を述べる宇部松蔵さん(左から2番目)



児童が参加する楽曲もありました

弦楽四重奏で会場一体に

東北電力スクールコンサート

6月13日、宇部小学校(吉水千枝子校長)でスクールコンサートが開催。同校児童の他、宇部中学校生徒や住民など約180名が鑑賞しました。仙台フィルハーモニー交響楽団の弦楽四重奏の音色は観客を魅了。宇部小学校校歌が演奏されみんなで歌うなど会場が一体となったコンサートでした。

スズランに気持ちを込め

小国小学校がすずらん訪問

小国小学校(菅原徹校長)の児童11人はすずらん訪問を5月29日に行い、市内の事業所などにスズランと手紙を届けました。お世話になった人に「感謝・いたわり・奉仕」の心を持ち、交流を深める活動として始められ今回で47回目。気持ちの込められたスズランに、受け取った人はみな笑顔でした。



心をこめて「スズランをどうぞ」



観客を魅了した大湊音楽隊の演奏

迫力の演奏で観客を魅了

海上自衛隊が演奏会

海上自衛隊大湊音楽隊の演奏会は5月19日、アンバーホールで開かれました。オリンピックなどの国際行事にも数多く参加している同音楽隊による久慈市での演奏会は6年ぶり。ダイナミックな指揮とソロパートを織り交ぜた迫力ある音楽隊の演奏は会場を訪れた800人以上の観客を魅了しました。

Child

子育て支援センターだより



行事予定

●7/4(水) 赤ちゃんサロン 13:30～15:30
※対象は1歳3カ月までの赤ちゃんとその保護者

●7/6(金) セタ会 10:30～11:30

●7/10(火) わくわく広場 10:00～11:30
※対象は山根地区の乳幼児とその保護者

●7/11(水) ぼんぼこ広場 10:00～11:30
※対象は荷軽部地区の乳幼児とその保護者

●7/12(木) うさこちゃんの部屋 11:00～

●7/13(金) あそびの教室 終日
※対象児が決まっているため自由来所はできません

●7/17(火) ひよこ教室 10:30～11:30

●7/23(月) 園開放・小久慈保育園 10:00～11:30
※直接、小久慈保育園にお越しください。

●7/27(金) あそびの教室 終日
※対象児が決まっているため自由来所はできません

利用案内

オススメの声

■子育て支援センター
☎52-3210

■対象…未就学児と保護者

■利用時間
①月～金 8時30分～17時
②土 8時30分～13時30分

■休館日…土曜日の午後、日曜日、祝日

■利用料…無料

私にも子にも気分転換にいいです。利用するようになって、子どもの寝つきが良くなりました。



古館雅由さんと長男の温人くん(新井田)

Health

元気応援だより





たかやまなみ
高安愛美保健師

生き生き活動するために
生きがいを持ち
自分らしく

☎地域包括支援センター
☎61-1557

皆さんは、どんな風に年齢を重ねたいですか。足腰を丈夫に、ボケないように…。それぞれ思い描く姿があると思います。

地域包括支援センターでは、65歳以上の方のころやからだ、生活に関する相談を受けています。また、介護予防や認知症予防に効果的な運動を取り入れた教室や講座の開催、介護保険で要支援の認定を受けた方の支援も行っています。高齢者の方から「あちこち痛くなり、思うように体が動

かなくて大変」との声が聞かれることがあります。が、多少大変なことがあっても、自分のやりたいことや役割があり、それらを生きがいと感じている方は生き生きと活動されています。

これからの人生をどう過ごすか考え、生きがいを持つて過ごすことは大切です。「まだまだ先のこと」ではなく、高齢になっても生き生きと自分らしく生活するため、どう年齢を重ねたいか今から考えてみませんか。

Books

図書館だより



《市立図書館》

「ねこざかなのすいか」

わたなべゆういち／作・絵
フレーベル館

海辺で遊んでいると、大きな大きなスイカが流れてきて思わず抱きつくねこざかな。そして、エイヤッ！力持ちのかばさんがすいかを割ると…。楽しいしかけ付きの絵本です。

《山形図書館》

「尾木ママの子どもの気持ちが『わかる』すごいコッ！」

尾木 直樹／著
日本図書センター

子どもが急にわからなくなっちゃった、自分勝手な態度ばかりでイライラしちゃう…。10代の子育てに悩むすべてのパパ、ママに贈る尾木ママとおきの「親子コミュニケーション術」！

《市立図書館 ☎53-4605》

■開館時間…9時～19時（土日祝は17時まで）

■7月の休館日…2(月)、9(月)、17(火)、23(月)、30(月)、31(火)

●サマーブック展…7/25(水)～8/26(日)

●手作り絵本教室…7/21(土)、28(土)、8/4(土)、11(土)の4回で完成。申込みは7/16(月)まで

●図書館映画会…7/14(土)10時30分～②14時30分～

●チビッコの部屋…①7/14(土)②28(土)14時～

《山形図書館 ☎72-3711》

■開館時間…10時～18時

■7月の休館日…2(月)、9(月)、17(火)、23(月)、30(月)

●企画展「夏休みおすすめ図書展」…夏休みの課題対策の本や夏におすすめしたい本の展示
7/20(金)～8/23(木)

オススメ図書

利用案内

Human

きらり

輝く

地域の情報を岩手県内に発信する女性記者

名前と呼ばれることを目標に
地元の話題 どんどん届けます

「久慈市の人は人っこが いいです。私のよう なよそから来た人にも向こう から声を掛けてくれる。人懐こい人が多い気がします」この春、久慈に赴任した岩手日報社の記者、志田芽衣子さんが久慈に住み感じた印象です。学生時代に学内のことを紹介する雑誌を制作するサークルに所属し、自分の興味があることを伝える楽しさを実感。人に何か伝える仕事があったらいい、自分の興味があること、地元のいいこと、魅力的なことを伝えられる地元新聞

社の記者になろうと決意。3年目もその気持ちは変わりません。『読んだよ！』と反応があると、地域の情報をいろいろな人が見ていることを実感し、やりがいを感じます」そう話す志田さん。

印象に残る取材は、去年、釜石で行われた被災したカッブルのための市民結婚式。上向きな気持ちになれない人がある時期に、人生の一番幸せな時に立ち会えたこと、この人たちが未来の釜石をつくっていくんだと実感し、それを発信するお手伝いをできたこ

とがうれしかったそうです。そんな志田さんに目標を尋ねると、「地域の人に、『日報さん』ではなく『日報の志田さん』と呼ばれるようになることです」と笑顔で力強く答えました。

久慈警察署で護身術の体験取材をしたり、時には建物の屋根の上を走り回る志田さん。地域の情報を一つでも多く伝えようと日々奮闘しています。これからも市民が興味を持つ話題、楽しくなる話題を提供してくれることでしょう。

取材されるのは慣れていない」と笑う志田芽衣子さん



しだ めいこ
志田 芽衣子 さん(川崎町・25歳)

Profile 家族は両親と妹、愛犬のコーギー。趣味は読書で、休みの日には集中して1冊を一気に読み切るとか。ライバルは同期。沿岸地域に何人かいるので刺激をうけ、良い記事を書きたいと日々奮闘中！

MY ★ Life ☎ Kuji



エリカ・ワードさん

夏は花火とバーベキュー

アメリカでは学校の夏休みは6月から9月の初めまで。日本で考えられない3カ月間の休みです！夏休み中の7月4日はアメリカの独立記念日。この日アメリカ国民は花火大会、バーベキューなどをして過ごし独立を祝います。子どものこ

ろ、私と妹はアメリカ国旗のケーキを毎年作りました。白い生クリームの上に苺とブルーベリーをのせ、白、赤、青、のアメリカ国旗を表しました。

日本でも夏といえば祭り、花火、バーベキュー。両国の文化や習慣は違えど、夏を楽しく過ごす点は一緒だと思います。

市内の小・中学校で英語を教えている市の外国語指導助手の皆さんが、久慈市で生活していて感じたことなどを紹介するコーナーです

夢と希望を風船に乗せて—



花の種を付けた色鮮やかな風船が飛ばされると、参加者から大きな歓声が上がりました

たのし〜い

遊びが満載

第11回ウィング☆フェスタ

高校生のボランティアグループが子どもたちに遊びを提供するウィング☆フェスタは6月17日、福祉の村で開かれ、会場は親子連れなど約2100人でにぎわいました。

遊びコーナーには弓矢ゲームやテーブルクロス引き、リアル間違い探しなど、高校生が考えたアイデアあふれる遊びが満載。各コーナーには楽しそうに遊ぶ子どもたちに明るく接する高校生の笑顔が見られました。同フェスタの運営をサポートするリトルバードの中田友和代表は「今年は野田村の子どもたちなども招待しました。遊びを通して震災による不安が少しでも解消してほしい」と願っていました。

おにいさん、おねえさん、ありがとう！



かっこいい！

ガンライザーに握手してもらいました。かっこよかった！おもちゃもたくさんあって楽しいです。



おさむらやま 夏道優耶くん (夏井町・6歳)

INTERVIEW

思い出のイベントに

今日来てくれた子どもたちが来年も行きたい！と思うような思い出に残るイベントになってほしいです。



坂本彰麻さん (久慈東高3年・グリーンピース会長)

編集後記

▶あめの中、平庭闘牛大会取材してきました。まわりの記者さんは、しっかり傘を片手に持っています。ちよっと降ったら晴れるだろうと根拠のない自信に満ちあふれ、手ぶらで行った私たち。やむどころか雨は次第に激しくなり、カメラも私たちもずぶ濡れに…。皆さん、何事も準備は万全にしましょう。(水上)

▶先日、初節句に鯉の形をした餅菓子を手土産に渡す地方があることを知った私。最近は見ませんが、引出物でいただく鯛の形の餅菓子が好きな私は鯉の餅菓子を買おうと決意！ネットで調べるも、節句が終わった6月に購入できるお店は皆無…。近場で鯛の餅菓子を探します。甘い物大好き、そんな私は「甘ちゃん」。(広崎)

くしげた いっせい 榊 喜成 くん(1歳)

榊照子さん、小向敬子さんの孫(天神堂)



坂本 悠翔

くん(8カ月)

桜庭武美さん、さち子さんの孫(天神堂)



未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、広報くし担当(☎52-2116)に応募ください。写真はお返しします。